

令和 5 年度

第 3 2 軍司令部壕詳細調査の実施内容について

1 調査内容及び目的

①未発掘区間調査

ボーリングマシンにより地中の掘削（直径 9cm 程度）を行い、第 1 坑道（中心部）付近の坑道の位置や坑道内部の状態を把握する。

作業手順としては、掘削した土砂の状態を確認し、空洞の様な部分を確認された場合に、カメラを挿入する。カメラの映像により空洞が坑道であることや内部の状態が良好であると確認された場合には、三次元レーザースキャナを挿入し、坑道内部の三次元データを取得する。

上記の作業を地点 9 と地点 10 で実施し、各地点で最大 4 本のボーリングを予定しているが、想定よりも少ない本数で坑道を確認できた場合は、予算の範囲内で地点 11 まで調査を行う予定。（資料 2 参照）

②地表部安全性評価のための調査

昨年度実施した詳細調査において、第 1 坑道の上部に空洞や地盤の緩みが確認され、その坑道の上部には公園利用者等が多く利用する道路があるため、追加の調査を実施し、地表部の安全性の確認を行う。

具体的には、追加のボーリング調査により、より広範囲の地盤データを収集する。また、地中の変状を継続的に把握するため、地中にセンサーを設置する。

③第 1・第 5 坑口周辺の試掘・表土除去

第 1 坑口の位置が特定できていないことや第 5 坑口に関しても坑口周辺の詳細な調査が実施されていないことから、坑口周辺の試掘調査を行いながら、一部地表に堆積した土砂の除去を行う。

2 調査スケジュール

①未発掘区間調査

各地点の調査は着手から 3 週間程度の調査期間を予定しており、地点 11 まで調査を実施することを想定し、現地作業の完了は 2 月中旬を見込んでいる。

②地表部安全性評価のための調査

12 月中旬から現場作業に着手し、来年の 1 月末頃までに完了する予定。

③第 1・第 5 坑口周辺の試掘・表土除去

11 月下旬に委託契約を締結する予定で、12 月中旬に現場に着手できるよう調整中であり、来年の 3 月末までに作業を完了する予定。